

土木学会全国大会研究討論会について

1. 土木学会全国大会

- ・開催日：平成 18 年 9 月 20 日(水)～22 日(金)
- ・開催場所：同志社大学 びわこ・くさつキャンパス
 (滋賀県草津市野路東 1 丁目 1-1)
 立命館

2. 研究討論会

- ・本年度は斜面工学研究小委員会が研究討論会を担当する。
- ・開催候補日：平成 18 年 9 月 22 日(金)午前中のセッション
 参考) 火山工学のセッションが 22 日(金)の午後に開催される。
- ・以下の内容で、討論会を実施予定

題 目	座長および話題提供者		
	座長	後藤 聡	山梨大学
新潟県中越地震における「斜面複合災害」 —総合的斜面工学からの検討— 地盤工学委員会 斜面工学研究小委員会	話題提供者	稲垣秀輝	(株)環境地質
		上野将司	応用地質(株)
		櫻井正明	(財)林業土木コンサルタンツ技術研究所
		小川紀一郎	アジア航測(株)
		中野裕司	中野緑化工技術研究所
		大野博之	長崎大学

2004年10月23日に発生した新潟県中越地震による斜面災害は、第三紀層地すべり多発地帯の豪雪地帯で発生したもので、今後数年間～数十年間の時間経過をおって、降雨や融雪および余震等の誘因が相乗的に影響する「斜面複合災害」が発生する可能性が高いと考えられる。一方、21世紀の斜面工学は、斜面の力学的安定だけでなく、防災、維持管理、環境・生態系、景観・計画等の「総合的斜面工学」からの検討が必要である。そこで、地震直後の斜面災害の状況および融雪や降雨等を経た約2年間の状況について、総合的斜面工学の見地より現地調査を数回実施した。これらの現地調査結果を題材にして、これからの山間地での地震災害の軽減・予防や復旧・復興のあり方等について、広く討論する。

2219 10:50